

竜丘村公民館

第一号

發行人 木下 右治
編集人 情報部
印刷所 龍共社
發行所 竜丘村公民館

公民館の發足に當りて

村長 前 島 頼 輔

會ては先輩の努力で天下の文化村と鳴らした本村に愈々芽出産萬般の結成を整へ今回大なる期待のもとに竜丘村公民館の開館式を挙げ得ますに當り謹んで村民各位の熱誠に感謝致しますと同時にその経過の概要を御報告申します。

昭和二十一年九月九日教育民生部長から公民館の設置と運営について次の通牒を受けました。

國民の教養を高めて道義的知識的並に政治的の水準を引上げ、また町村自治体に民主主義の實際的訓練を與へるに共ニ科學思想を普及して平和産業を振興する基を礎くことには新日本建設のため最も重要な課題と考へられるが、この度郷土の教育と交友と産業とを一体とする中樞機關として左記要綱に基づき市町村の自發的創意と努力によつてそれぞれ公民館の設置を奨励すること、なつたから特別の配慮を願ひたく命によつて通牒する

猶同時に示されし設置運営要綱は非民主的の指令では絶對なく極力民主的、總力的な説明でその運営上にも縣はみだりに監督がましい指示はせぬと聲明してあります。

爾來新憲法の實施、學制改革の進展等により大に慎重なる研究を重ねましたが、この事は進駐軍教育局の重大注視事項でもあり、その設置遂行こそ郷土文化の發展新日本の平和的文化國家再建の理想を

公民館の誕生

公民館長 木下 右治

一冬の霜に荒れはてた土手の中から極めて新鮮に頭をもたげて来たものがある。それはふきのこうであつた。敗戦後の荒れはてた社會に新興の意氣をもつて頭をもたげて来たのは社會教育文化教育の綜合機關、即ち公民館である。

さて公民館の公民精神を深く掘りさげて行くに新憲法に

實現する鍵である。而して徹底せる郷土の民主化によつて新しき時代の先驅者たることを村人の待望する再び築く母村の榮譽と確信致します。

今や膨はいて起る公民館設置要綱の輿論により熱烈なる創意と全村的の關心と協力とを結集し茲に新時代の訓練に一路邁進せんとするこの大運動こそ村を挙げてお祝ひ申ませう。而して町村行政が村を守る父親とすれば公民のこの運営が村を育つる慈母であることを祈つて祝辭致します。

磨くためお互に修養を積み教養を深め新しい社會を構成して行くことが新憲法の下に生きるわれわれの使命である。然しながら高い新憲法の理想を國政の上に國際社會に人間關係に實現するにはまづその基礎として最も手近なところからわれわれの健實な第一歩を踏み出す必要がある。まづわれわれの郷土からわれわれの村から具體的な第一歩を踏み出して行かねばならない公民館の運営を通じてわれわれは郷土の政治を民主化し、教育を社會化し、産業を科學化し、体位を向上し、それによつてわれわれの郷土に生活文化を建設することを目標としたものである。

文化と言へば藝術を思ひ演劇、映畫、音楽などの藝術が取り上げられ、宗教、文學、思想、學術が念頭に浮ぶ。これ等の文化は人間の創造するものとして最も高い價値あるものである。しかしながら、これ等の文化は結局われわれの日常生活と緊密に連携しなければならぬのであつて、われわれの生活から遊離したものであつてはならない。われわれの生活に即し生活の底から染み出して来た文化でなければならぬ。その意味で文化は政治とつながり産業の中

に融け込むと共に人間の知性を高める教育の仕事である。公民館が文化機關であるといふ文化の意味は右のような廣義のものなのである。

この度竜丘村公民館が誕生したのは新しい時代に生れるべくして生れた組織である。由來竜丘村は文化村としてその名を知られている。公民館の振興により新しい時代の文化村を再建したいと希念するものである。然しやつと孤々の聲をあげたばかりの赤坊である。この赤坊が健全に發育するかどうかは村民自身の問題であると思ふ。村民各自が自覺を持ち村文化團體が協力する時公民館は次第に機能を發揮して村自治運営の強力な底力となるであろう。要は健全に一石一石を積み上げて公民館を建設して行くことである。

挨拶と抱負

藝能部主事 吉澤俊

陽春正に酣なわならん六日、前途洋々たる輝きを

持つ吾が公民館の發館式をへることは實に嬉しき限りであります。此の時に當り小生如き輕輩淺學な者が主事と云ふ重任を負はされること云ふことは全く汗顔の極みで暗膽たる思ひをさせられます。茲に公民館の重要性を思へば思ふ程此の部門に携る者たる者の重任を考へさうか皆様の一段の強力な御指導と御援助を得て責務の全からんことを衷心より念願いたします。以上を以つて簡單ながら挨拶に代へます。

次に一般的抱負を列記し皆様の何分の御批判を仰ぎたいと思ひます。

- A、老若男女が楽しんで館の趣旨に添ふ様な氣分を養成する機關となりたい
 - B、一部の階層及幹部だけの機關となることを避けたい
 - C、村内での創意、計畫及實際でありたい
 - D、したがつて演藝なごも地味であつても高位の價値をねらつて文化水準を高めたい
 - E、以上の目的達成のためあらゆる機會と機關を利用して速進摩擦を避け漸進確實性を取りたい
- 以上

みんなの公民館

教養部主事 橋本 玄進

◎観客の無い芝居

公民館が出来た。規則や組織も一應きれいに出来上つた。さて何が始まるだらうか、みんなが来たつを呑んで開幕前の芝居の観客のやうに、ちつと舞台の方を注意して見て居る。そんな恰好に見える。而しそう云ふ観客ばかり多い、何時までたつても公民館の舞台は幕が開かないかもしれない。

公民館には特定の役者も演出家も用意されてないからだ。舞台装置も脚本を書くのも何も彼も一切合財みんなであるのだ。そして観客は一人も居ないのである。そう云ふのが公民館であらう。面白い芝居を見ようとするのではなくて、良い芝居を演じやうとするのである。そして一人ひとりがみんな揃つて千兩役者や偉大な演出家にならうとするのである。観客は一人もないのである。

◎へボイ主事

色々澤山部が出来た。その中で教養部も云ふのも出来てへボイへボイその主事も決められた。へボければへボいなり主事は主事として最善の

努力を拂わなければならぬのは當然だが、こんな努力をしてみても本来の無能が果してどんな成果を得るか誠に案じられるわけである。

而し主事の教養部では勿論なくて教養部の主事であるし他に有能なみんながあるのでは主事も一先づ安心なのである。みんなの教養部をみんなで活用してみんなの教養を高めたい。

◎榮養食

講演會、講習會、座談會等々其の他色々計畫され、實行されつゝあるが、出来るだけ多く物を知り視野を廣くし度いと思ふのであるけれども、その言ふ知識が單に知識として脳味噌に溜りなつて居るだけなら何等教養にはならない。最も悪らつた多くの犯罪が屢々知識人に依つて決行されて居る。

固苦しい議論はさけて實際の所日常生活を反省して見ると、家内中喧嘩ばかりして居るよりも仲よくする方が楽しい、盗みをするよりもしない方が氣持が明るい。隣近所につき合ひも、円満な方が嬉しいし何が善であるか大方は見

當が付くものである。有難い事にお互に良心を言ふものを持つて生れて居るからだ。その良心を育成強化して尙決然として良心の指示に従ふ勇氣を養ふのが教養と云ふことではあるまいか、榮養が肉体の健康保持に是非共に必要であるやうに知識は教養の榮養食である。下痢患者が如何程多量の榮養食を攝取しても物の役に立たないばかりか却つて有害である。心の下痢患者になりたく無い。

◎交換分合

他人に優越する爲に知識を求め教養を心掛けるのではない。みんなと同じレベルに解合ふ事が出来るやうにそれを考へるのである。交換分合は農地問題に限つた事では無く知識や教養に付いてもそれを行ひ度い。互に親しみ合ひ睦み合ひ教へ導き合ふ言ふ公民館の信條がそれである。今なき俺が獨りで働いて獨り食つてゐるんだ、余計なお世話だ、なご云ふ非社會的な人はあるまいけれど、それでもやはり他人の空腹には自分のそれ程には苦痛を感じないのはお互の事實ではないか。利息危介千萬な人間の本能だ。此奴が色々わざをする。然し孤りで生存してゐるのでないのだから何んか始末をつけねばならない、その爲に政治が

ある。政治が共同の福祉の實現を目指してゐるやうに教養も又同じ目的を持つてゐる。

◎人間らしく

公民館に集つたらお互に言ひ度い事は十分に言ひ合ひ度い、腹のさぐり合ひやお座なりな挨拶は御免だ。

一昔前の教養は言ひ度いことも言わず、泣き度くても笑ひ度くてもそれをようしない「ツン」とすまし込んだ。白ちやけたお人形見たいなものであつた。そして腹の中は眞黒である。始末の悪い危介な

「公民館図書館の出發に際して」

図書部主事 北澤 小太郎

生活の忙しさで日常の雑務に追はれて居た私は遂近年村の圖書館をのぞいて見た事がなかつた。

この頃公民館の設立と共に係りをやれし御推薦を受けたこれは好きな讀書への道ではあるが個人的ではない仕事だ私の肩で今の生活には少し重荷だと思ふ、だが館の内容を見てこれはいかん、と思つた正に十年前の姿を一步も前進せずだ。

學校教育と共に公民教育の一端を擔ふ圖書館がこれでは現在の本村青年層の一番讀書力のたくましい要求の時代に余りにひびき館の内容が現状だ。私は個人的に時代の動きや生哲の歩んだ道や、古典の文學の中に好きな讀書を通じて心の愉しみを持つて来たが、村人全部の方と共に主として青年教育の重要性から圖書館を通じての讀書の問題を眞剣に考へて見たいと思ふ。卒直に申したい。

結論は、村の圖書館は村人の力で築きたい。且つて郡下でも一番進んだ圖書館の竜丘が最も遅れた館の内容しか持たない現状を卒直に皆様へ報告申して改善の出發に御願ひしたいと思ふ。

ものであつた。そんなゴマカシはもうごめん。お互に人間らしく遠慮なく泣いたり、怒つたり、笑つたりしよう。然しそれでは収集が付かなくなりはないか。そこで教養と云ふのは、みんなの高い教養が泣くに泣く場合を笑ふに笑ふ所を怒るに怒る程度をそれへ適當に按配して上手に収集して呉れるでせう。そうならば民主主義も板に付いてくる。みんなの公民館をみんなで盛り上げやう。

①其の爲に、村の方々の御理解と御協力を得て村豫算へ現在五〇〇〇程度をを増額し且つ其の他の団体有力者等の御寄附を得て館の豫算收支の確立を圖らなければならぬ。

②現在蔵書の整本、整理分類整理法の改善に依り各區分前公民館に団体貸出を奨め以つて分館を主体にした巡回文庫制の充分なる運用を圖り度い。

③村内、讀書家の蔵書のうち二冊でも三冊でも御寄附願つて館の充實を得たい。新しい時代と世代の教育の爲になる事を思つて。

④青年層を中心に良い讀書會を持ち度い。

希望したい事は澤山あるが以上の要点は私のみの要望でなく、公民館に今度委員として出た青年團中島君外二十四名の同志諸君や學校の圖書係り諸先生の意見の取纏でもあり。

多彩な催しを織り込んで

公民館開館式行はる

水ぬくみ梅香る希望の春の訪れと共に待望の開館式が開かれます。村の文化を培ふ公民館の出発を祝して繰りひろげられる催し物の繪巻を御案内いたします。

○第一日(三月六日)

●開館式
午後十二時三十分開式、会場は講堂、村中を擧げて参列し、文化村竜丘再現の楔機を祝福第一歩を踏み出させよう
式の次第は次の通り

- 一、集 合
- 一、開式の辭 青年團長
- 一、開館の辭 館 長
- 一、経過報告 職務情報部 主事
- 一、館則發表及組織發表 職務部記録係
- 一、祝 詞 來 賓
- 一、閉式の辭 副館長

●記念講演會 教養部

一時半より三時まで於講堂 講師 參議院議員羽生三七氏 講演會は高き教養、高き文化の村への重要な導入線であり、智的な刺戟に乏しい農村の私達は、この機会を最大限に活用いたしませう。

●座談會 産業部
三時より五時まで、会場は

●第二日(三月七日)

●演藝會 藝能部
夕間迫る頃より夜の部は全員こぞつて演藝會へ集中する午後六時より十一時まで、会場は講堂。

●成年式 保健衛生部
若人の成年を意義づけ祝福して成年式を舉行する。費用の關係もあり本年度適齡者は

●閉會の辭

●閉會の辭 體育部主事
一、審査長挨拶
一、競技

●閉會の辭

今後の催しに参加致しませう

●圖書部 圖書部
公民館圖書部として劃期的充實を目ざす圖書部は兩日に亘り九時より十一時迄開館し一般の御利用をまつと共に讀書狀況の圖表を展覽致します村の文化の心臓圖書部への關心を愈々深めて参りませう。

●演藝會 藝能部
夕間迫る頃より夜の部は全員こぞつて演藝會へ集中する午後六時より十一時まで、会場は講堂。

●成年式 保健衛生部
若人の成年を意義づけ祝福して成年式を舉行する。費用の關係もあり本年度適齡者は

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

二十一歳の青年男女、約百二十名。時間の關係上五日に血液検査、体格検査、ツベルクリン反應注射等を行ひ七日午前九時よりツベルクリン反應検査、血洗検査を行ふ。午前十時より成年式。

●閉會の辭 體育部主事
一、審査長挨拶
一、競技

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

今まで家事に追はれ運動に親しむ機會の少かつた婦人の方々にリクリエーションとして卓球をこり上げ各區より年齢別、二〇才一三〇才迄二名三〇才一四〇才迄二名、四〇才以上一名、計五名の選手により熱戦が演ぜられます。

この機會に婦人方にスポーツに親しみスポーツを理解して今後正しい運動への前進なる様、こゝに數日來猛訓練を續けた各區選手に心からの聲援を送り競技會の盛大を期待いたします。

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●圍碁、將棋大會 藝能部
七日午前九時より終日、会場は第二裁縫室
係長原春一氏、係員河井精一氏、今村勝太郎氏、下田巖氏、牧内英志氏
試合方法 個人試合
村中の斯道の天ぐが一室に會し和氣瀟々のうち盤上火をばく熱戦が展開されるやう廣く同好の士の御参加を待ちます。盤、碁石、駒及茶菓子の御持参を願ひます。(岡村記)

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

●閉會の辭

開館兩日を飾る

こりぐの展覽展示會

生花、生徒作品、農藝作品等々

開館兩日に一きわ華を添へる爲の各種の展覽會、展示會がそれら、關係者の大きな御努力によつて開かれることになつた。以下大略の御案内をいたし當日の御参考とします

◎活花の室

六日午後から七日終日、会場は南館教室四室に一般の青年學校の出品を展示。春來るの魁として芳香ゆかしい四室の清そな藝術は目頃美に遠ざかつて居る私達の目に心に豊かさ喜びを大きく植へつけて余りありませう。

◎産業部室

本館産業部の企畫せる本村農業の歴史、農具の歴史や今後の村の生きて行く道は如何にあるべきかの統計的な各種資料の展示、及農科工業製品類の展覽、出品は自由大いに御出品をまします。

(四面へ続く)

尚亦この機会に同室にて買収土地台帳の縦覧と農地相談所の開設をなし、係員が居て

まず故御利用下さい。六日午後から七日終日、会場は中央校舎階下。◎学校生徒作品展覧室

会場は青年学校、生徒作品は中央校舎階下、小学校、中学校生徒の作品展は中央校舎階上。

新しい學制にしたがつて勉強に勵む児童生徒の作品を此の機会に御覧下さい。

竜丘村公民館本館組織

- 一、顧問 前島頼輔
一、館長 木下右治、副館長 岡村賢作
一、常任委員 青年團六名、壯年團三名、婦人會三名
父兄會一名、村會議員二名、其他一般適格者若干名、委員

- 名、學校二名、各分館長 各主事、副主事
青年團 下平貢、小林三郎
中島孝治、熊谷咲恵、林千恵、下平智美子
壯年團 前島正三、林長男、折金米男

- 婦人會 中田今朝子、吉澤さかゝ、小林いくゑ
父兄會 (欠)
村會議員 岡村賢作、北澤小太郎
學校 木下右治、和泉愛助
一般適格者 岡島康治、關島芳馨、下平清、橋本玄進、北原公祐、下平貞雄

Table with columns: 部 (Department), 主事 (Chief), 委員 (Committee), 壯年團 (Young Men's League), 婦人會 (Women's League), 一般及學校職員 (General and School Staff). Rows include: 總務部 (General Affairs), 1、常任委員 (Regular Committee), 2、情報 (Information), 3、會計 (Accounting), 4、記録 (Records), 教育 (Education), 圖書 (Library), 産業 (Industry), 體育 (Sports), 保健衛生 (Health), 藝能 (Arts).

公民館分館組織
分館長 關島林郎 今村文雄 沖田米吉 清水唯一 桐生喜一
駄科 長野原 時又 上川路 桐林

副分館長 折金伸造 欠
總務情報部 下平貢 小林三郎 (副兼任) 木下彦男 原博
會計 折金 幸 小林武男 下平忠次 久保田吉郎 下平祐一

開館式を待つ

昨年夏頃公民館について大要を聞いた折にはまだ自分達さは余程遠いもの、様な気がして何れ誰かが始めてくれるだろう位に極めて消極的な氣持で居つたところ、木下校長先生の非常な熱意に動き出し、最近でわ我々婦人團體も公民館に合流して新しい村作りに馳せ参るべきだと晴ればれた氣持で計畫に準備に加へて頂き自分達の誕生日でも迎へる様な喜びをもつて開館式を待つと同時に今後の活動如何はその責任の重且大なるを感じるのであります。近頃の教育方針が社會科に中心を置いて成功した米國に慣ひ、中等義務教育を實施して居る只今此の村でもPTAの結成を見、其の精神から見ても社會科中心の學問は子供と共に親の勉強によつて成果を擧げるものと信じます。

中田今朝子

公民館とは何か!

個人々々の生活と結びつき、其の力が結集

して、経済的文化的に村全体を豊にするも

の、その活動は建物の中にもみあるのでな

く、田園にも、工場にも、商店街にも、常

に我々の生活と共にある。

一、公民館の趣旨及目的

これからの日本に最も大切なことは、すべての國民が豊かな文化的教養を身につけ他人に頼らず、自主的に物を考へ平和的、協力的に行動する習性を養ふことである。そしてこれを基礎として盛んに平和的産業を興し新しい民主日本に生れ變ることである。その爲には教育の普及を必要とする我が國の教育は國民學校や青年學校を通じて一應ごんな田舎にも普及した形ではあるが、今後の國民教育は青少年を對照するのみでなく大人も、子供も、男も、女も産業人も、教育者もみんながお互に陸み合ひ、導き合ひつてお互の教養を高めて行く様な方法がとられねばならない。

公民館は全國の各町村に設置せられ、此處に常時に町村民が打ち集つて談論し、讀書し、生活上、産業上の指導を受け、お互の交友を深める場所である。それは謂はば郷土に於ける公民學校、圖書館、博物館、町村民集會所、産業指導所などの機能を兼ねた文化教養の機關である。それは亦青年團婦人會などの村に於ける文化團體の本部ともなり、各團體が相提携して村を振興する底力を生み出す場所でもあるこの施設は上からの命令で作られるのみでなく、眞に村民の自主的な要望と協力によつて設置せられ、又村自身の創意と財力によつて維持せられてゆくことが理想である。

公民館は同時村の人々の親睦交友を深め相互の協力を和合を培ひ以て村の自治向上の基礎となるべき社交機關でもあるから成るべく堅苦しい窮屈な場所ではなく、明朗な楽しい場所となるやう運営されねばならない。

公民館は亦村民の教養文化を基礎として郷土産業活動を振興する原動力となる機關であるから村内に於ける政治教育及び産業關係の諸機關が一致協力してその運営に参加し、かくして教化活動が総合的に推進されねばならない。

公民館は謂はば村民の民主主義的訓練の實習場であるから館内においては性別や老若貧富等で差別することなく、お互の人格を尊重し合つて自由に討議談論する間に自分の意見を率直に表明し又他人の意見は素直に傾聴する習慣が養はれる場所となる様に運営されねばならない。

公民館は亦中央の文化と地方の文化とが接觸交流する場所であるから進んで各方面の中央講師を招いて意見を聞くと共に地方の事情を

中央に通じて貰ひ、日本中の人が仲良く理解し合つて日本の再建に協力する原動力となる様に運営されねばならない。

公民館は全村民のものであり、全村民を對象として活動するのであるから村内各種の機關がこれに協力すべきは勿論であるが特に青年層こそ新日本建設の推進力となるべきものであるから

此の施設の設置運営には特に青年層の積極的な参加が望ましい。

竜丘村公民館々則

第一章 名稱

第一條 本館は竜丘村公民館と稱する

第二章 目的

第二條 本館の目的は村民が教え合ひ導き合ひ互に教養文化を高めると共に村内各種文化團體が有機的に相提携する民主的社會教育機關であつて本館の振興の原動力となるものである

第三章 組織

第三條 村内各種文化團體及び一般村民を以て組織する

第四章 事業

第四條 本館の施設は竜丘學校を本館とし村内に分館を置く

第五章 役員及責務

第五條 本館に左の役員を置き業務執行の任に當る

一、館長(常任委員長)一名、本館を代表する

一、副館長(副常任委員長)一名、館長を補佐し館長事務ある時は之を代理する

一、常任委員 若干名、本館の企劃運営に當る

一、委員 若干名、各事業部の事業を立案し之を運営する

第七條 本館役員任期は各一ケ年とする、但し重任をさまたげない

第七章 會議

第八條 本館は左の會議を開く

一、常任委員會 館長(常任委員長)必要と認めたる時之を開く

一、委員會 常任委員會議並に主事必要と認めたる時之を開く

第七章 經費

(六面へ續く)

第九條 本館の經費は村費

第十條 本館の豫算及決算

第十一條 本館の會計年度は

第十二條 本館に左の簿冊を

第十三條 本館事務所を竜丘

第十四條 本館の業務年度は

第十五條 本館の選出方法は

第十六條 本館の職員は

第十七條 本館の職員は

第十八條 本館の職員は

第十九條 本館の職員は

第二十條 本館の職員は

第二十一條 本館の職員は

第二十二條 本館の職員は

第二十三條 本館の職員は

第二十四條 本館の職員は

第二十五條 本館の職員は

第二十六條 本館の職員は

述べさせて頂きます。自から世界への窓を閉ざし、

ありまして。成人式の重要性に上り、

本年の事業 一、成人式 一、育兒講座の開設

思われる。若者よ鐘をたけ！村の産

買収農地の展示會(耕作者はこの土地が買収になつて

公民館運営について 各分かん毎に開催す